

NO.	項目		令和4年度対計画比を踏まえた分析・考察 (要介護認定者数・要介護認定率のみ令和5年度)	備考	
1	要介護認定者数 (R5年度)		<ul style="list-style-type: none"> ・認定者数及び要介護認定率ともに計画値を下回っている。 ・新型コロナウイルス感染症の対策の継続を必要とするため、介護認定申請を控えていることが認定者数の低下につながっていると考えられる。 ・一般介護予防事業の推進、地域における取組の進展の効果が表れ、介護サービスによる日常生活での介助を必要としない高齢者が増えていることが、認定率の低下につながっていると考えられる。 	総括表	
2	要介護認定率 (R5年度)				
3	利用者数	施設サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・施設サービス全体では、計画値を下回る実績となっている。 ・介護老人保健施設については、医療法人が運営しているため、新型コロナウイルスの影響による利用者数の減少が考えられる。 ・介護療養型医療施設については、転換の経過措置が延長されたことにより利用者が減らず、計画値を大きく上回っている。 ・介護医療院については、近隣市町において病床数が増えたことに伴い、計画値を上回ったと考えられる。 	総括表詳細 (1)	
4		居住系サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・居住系サービス全体では、計画値を下回る実績となっている。 ・特定施設入居者生活介護については、計画値では満床を見込んでいたが、想定よりも空床があったことが要因で計画値を大きく下回ったと考えられる。 		
5		在宅サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅サービスについては、施設・居住系サービスと比べ、概ね計画値どおりとなっている。 ・訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導については、計画値を大きく上回っており、訪問介護、訪問看護についても計画値を上回っている。在宅医療と介護の連携が発展していることが要因であると考えられる。 ・認知症対応型通所介護については、新型コロナウイルスの影響による施設利用の制限や利用控えから計画値を大きく下回る利用者数となったと考えられる。 ・地域密着型通所介護については事業所の廃止が要因であると考えられる。 ・ショートステイ（短期入所生活介護、短期入所療養介護）については、計画を大きく下回っている。新型コロナウイルスの影響により施設の利用が制限されていたためと考えられる。 		
6		施設サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・受給率はほぼ利用者数に連動した実績となっているため、利用者数の分析と同様のことが言える。 		総括表詳細 (2)
7		居住系サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・受給率はほぼ利用者数に連動した実績となっているため、利用者数の分析と同様のことが言える。 		
8	在宅サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・受給率はほぼ利用者数に連動した実績となっているため、利用者数の分析と同様のことが言える。 			
9	1人1月あたり利用日数・回数		<ul style="list-style-type: none"> ・全体として、概ね計画どおりの利用状況となっている。 ・各サービスにおいても要支援・要介護認定者の和は計画どおりとなっている。 	総括表詳細 (3)	

NO.	項目		令和4年度対計画比を踏まえた分析・考察 (要介護認定者数・要介護認定率のみ令和5年度)	備考
10	受給者1人あたり給付費	施設サービス	<ul style="list-style-type: none"> 施設サービス全体では、概ね計画値どおりの実績となっている。 介護医療院及び介護療養型医療施設については、想定していたよりも軽い介護度の方が利用していると思われる。 	総括表詳細 (4)
11		居住系サービス	<ul style="list-style-type: none"> 居住系サービス全体では、概ね計画値どおりの実績となっている。 特定施設入居者生活介護については、計画を若干上回っているが、利用者数が計画を下回っていることから、想定していたよりも重い介護度の方が利用していると思われる。 	
12		在宅サービス	<ul style="list-style-type: none"> 在宅サービス全体では、概ね計画値どおりの実績となっている。 居宅療養管理指導については、想定よりも介護度の重い方の利用が増えてきていると思われる。 定期巡回・随時対応型訪問介護看護については、利用者が少なく、介護度の重い方が利用しているため計画値と大きな差が出ている。 	
13	給付費	施設サービス	<ul style="list-style-type: none"> 介護老人保健施設において、新型コロナウイルスの影響による利用者数の減少が考えられるため、施設サービス全体でも計画値を下回っている 	総括表詳細 (5)
14		居住系サービス	<ul style="list-style-type: none"> 特定施設入居者生活介護については、計画値では満床を見込んでいたが、想定よりも空床があったため、計画値を大きく下回り、居住系サービス全体でも計画値を下回っている。 	
15		在宅サービス	<ul style="list-style-type: none"> 在宅サービス全体としては、計画値を下回っている。 地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護において、利用者数が計画値を大きく下回ったためと考えられる。 居宅療養管理指導については、利用者数が増え、介護度の重い方についても利用していることから計画値を大きく上回っている。 福祉用具購入費、住宅改修費が計画値を大きく下回っているが、コロナ感染症対策により、事業者との面会を控え、契約が積極的に行われなかったことが要因と考えられる。 	